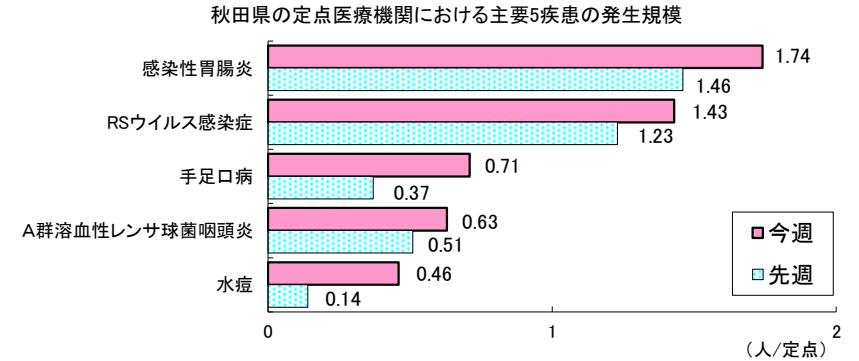




【第44週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、大仙、横手で増加、大館、能代、由利本荘、湯沢で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で1.2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、湯沢で増加、北秋田で同規模、大館、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
3. 手足口病は、県全体で1.9倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、由利本荘、大仙、横手、湯沢で増加、秋田中央で同規模となっています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減	第43週	第44週	増減			
RSウイルス感染症	1.23	1.43	↗	2.43	3.57	↗	2.00	1.00	↘	1.50	1.50			1.33	↗		1.00	↗	0.75	0.25	↘	0.75		↘	3.00	2.67	↘		0.25	↗
インフルエンザ	0.39	0.19	↘	0.45	0.36	↘	1.29	0.57	↘	0.33	0.33					0.17		↘	0.17	0.17		0.14		↘	0.20		↘	0.40		↘
咽頭結膜熱	0.11	0.06	↘	0.29		↘																0.50	0.50							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	0.63	↗	1.00	0.71	↘		0.25	↗					0.67	↗	2.00	1.25	↘				0.25	1.25	↗		0.33	↗	0.50	0.75	↗
感染性胃腸炎	1.46	1.74	↗	1.71	4.14	↗	2.25	1.25	↘				3.33	1.00	↘	2.00	2.25	↗	0.50		↘	0.75	1.75	↗	0.67	1.33	↗	1.25	1.00	↘
水痘	0.14	0.46	↗	0.14	0.43	↗		0.25	↗					1.33	↗					1.50	↗	0.25	0.25		0.33	0.33		0.50		↘
手足口病	0.37	0.71	↗	0.86	1.43	↗								0.33	↗	0.50	0.50			0.25	↗	0.50	0.75	↗	0.33	0.67	↗	0.50	1.50	↗
伝染性紅斑		0.03	↗																											
突発性発しん	0.20	0.26	↗	0.57	0.43	↘		0.75	↗		1.50	↗	0.33		↘										0.67		↘			
ヘルパンギーナ	0.11	0.06	↘										0.33		↘							0.25	0.25			0.33	↗	0.50		↘
流行性耳下腺炎		0.06	↗											0.33	↗								0.25	↗						
川崎病		0.03	↗																						0.33	↗				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.14	0.43	↗	0.33	0.67	↗				*	*		*	*		*	*					1.00	↗				*	*		
細菌性髄膜炎		0.25	↗		1.00	↗										*	*					1.00	↗							
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	1.00	0.75	↘		1.00	↗				2.00	1.00	↘				*	*		6.00	3.00	↘		1.00	↗						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のE型肝炎が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から2人、北秋田保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-43週 全国	秋田	44週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	17474	94	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	82	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3261	34	1
	腸チフス	34		
	バラチフス	14		
四類	E型肝炎	413	3	1
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	383	7	
	エキノコックス症	16		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
重症熱性血小板減少症候群	96			
腎症候性出血熱				
西部ウマ脳炎				
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-43週 全国	秋田	44週 秋田
四類	チクングニア熱	43		
	つつが虫病	95	5	
	デング熱	400	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	266		
	日本脳炎	6		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	47		
	野兔病			
	ライム病	14		
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1957	13		
レプトスピラ症	26			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	712	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	275	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1831	13	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	63		
	急性脳炎	715	4	
	クリプトスポリジウム症	19		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	157	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	742	3	
	後天性免疫不全症候群	974		
	ジアルジア症	40	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	462	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	41		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2571	16	
	水痘(入院例に限る)	390	8	
	先天性風しん症候群	3		
	梅毒	5467	19	1
	播種性クリプトコックス症	121		
破傷風	105	3		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	60			
百日咳	14357	176	4	
風しん	2245	3		
麻しん	725			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	24			

トピック

<インフルエンザに備えましょう>

インフルエンザは、例年12月頃から患者報告数が増加し始め、1月から3月にかけて流行のピークを迎えます。第44週現在、県内の定点あたり患者数(人/定点)は0.19で、流行開始の目安となる1.00を下回っています。しかし、全国の定点あたり患者数は昨シーズンに比べやや高めに推移しています(図)。今後の発生動向に注意し、早めの対策を心がけましょう。

■日ごろからの予防対策

手洗いの徹底、マスクの着用、咳エチケット、十分な睡眠とバランスのよい食事などに心がけましょう。

■予防接種

予防接種にはインフルエンザに対する抵抗力(免疫)をつくり、重症化を防ぐ効果があります。ただし、予防接種の効果が得られるまでには2週間程度かかります。

接種の回数は、6カ月~13歳未満の小児は1シーズン2回、13歳以上の方は通常1回です。費用は任意接種のため原則自己負担ですが、表に該当する方は定期接種の対象となっていますので、一部公費負担を受けられます。市町村によっては独自の助成事業を行っている場合がありますので、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関などにお問い合わせください。

表 定期接種対象者

対象者	備考
65歳以上の方(接種日が誕生日の方を含む)	-
60~64歳の方で ①心臓、腎臓、呼吸器の機能に障がいがある方	おおむね、身体障害者
②ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方	手帳1級に相当する方

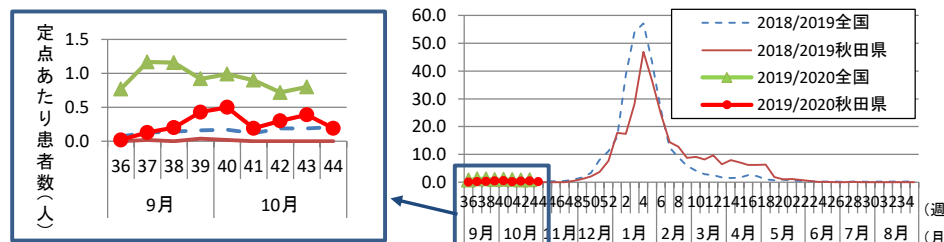


図 インフルエンザ定点あたりの患者数の推移

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症集団発生1件、かぜ様症状集団発生2件の報告がありました。

事例の種類	所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計				
RSウイルス感染症	秋田市	かんば保育園	11/1	134名のうち	10名	44名のうち	0名	10名	10/27 ~ 11/1	発熱、咳
かぜ様症状	横手市	やすらぎの苑	10/28	148名のうち	14名	95名のうち	1名	15名	10/22 ~ 10/28	微熱、鼻水、咳嗽
	横手市	介護老人保健施設 老健おもり	10/30	92名のうち	32名	57名のうち	0名	32名	10/15 ~ 10/30	鼻声、咳嗽、発熱

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	能代(1.33)、由利本荘(1.50)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		